

情報工学科 卒業研究 II 発表評価項目と基準 (2021-11-24 第 610 教室会議承認)

□卒業研究 II 発表会評価項目 (各 10 点満点 : 総計 30 点満点)

- (1) (予稿) 自分の研究内容やその成果の意義を発表会予稿でまとめられているか
- (2) (研究内容) 卒業研究テーマで掲げる目的を達成するために, 創意, 工夫を行っているか
- (3) (発表のしかた・質疑応答) 自分の研究内容やその成果の意義を制限時間内にまとめて発表することができ, 質問者の意図を理解して的確に質問に答えることができたか

□卒業研究 II 発表会評価基準

	10 点	8 点	6 点	4 点	2 点
(1) 10 点	予稿全体が適切な文章で分かりやすく構成されており, 研究内容や成果の意義が読み手の理解に配慮されて高いレベルでまとめられている。	予稿全体が適切な文章で構成されており, 研究内容や成果の意義が読み手の理解に配慮されて所定のレベルでまとめられている。	予稿全体が概ね適切な文章で構成されており, 研究内容や成果の意義が所定のレベルでまとめられている。	予稿の構成・まとめ方が所定のレベルに近いものの, 適切でない文章や説明に不明瞭な個所が多い。	予稿が提出されているに過ぎない。
(2) 10 点	研究目的を達成するために, 多くの創意, 工夫を行っており, 研究目的に相応しい, 十分な研究成果が得られている。	研究目的を達成するために, 創意, 工夫を行っており, 研究目的に相応しい研究成果が得られている。	研究目的を達成するために, 創意, 工夫を行っており, 所定の研究成果が得られている。	研究目的を達成するための創意, 工夫が十分では無いものの, 所定の研究成果が得られている。	研究目的を達成するための創意, 工夫がほとんどみられない。
(3) 10 点	聞き手の理解に配慮した工夫が多くみられ, 制限時間内に, 研究内容および成果の意義を分かりやすく説明した。	聞き手の理解に配慮した工夫がみられ, 制限時間内に, 研究内容および成果の意義を分かりやすく説明した。	聞き手の理解に配慮が十分では無いものの, 制限時間内に, 研究内容および成果の意義を説明した。	聞き手の理解に配慮が無いものの, 研究内容および成果の意義を説明した。	制限時間を大幅に守らずに, 単に発表を行ったに過ぎない。
	質問者の意図を理解し, 分かりやすさに配慮しつつ的確に質問に答えた。	質問者の意図を理解し, 的確に質問に答えた。	質問者の意図を理解し, 質問に答えた。	質問に答える努力を行ったが, 不明瞭な個所が多かった。	質問に答える努力がほとんどみられなかった。

□予稿作成要領

- ・発表 1 件につき, A4 判 1 ページとする
- ・左右両端に, とじしろとして 2cm 以上の余白を入れる
- ・確定プログラムを参照の上, タイトルの左に講演番号, ページ下部中央にページ番号を入れる
- ・予稿の題目がプログラム記載のものと同一であることを確認する

□予稿作成時の留意事項

予稿における本文のフォントサイズは下限を 9 ポイントとする。図表 (キャプションを含む) 及び参考文献のフォントサイズは, 行間サイズを含め, 可読性を著しく損なわない程度のサイズとし, 研究題目や筆署名などのフォントサイズは予稿全体のバランスに留意する。以上は予稿作成・ファイル提出時の書式サイズであり, 印刷後のサイズではない。

□その他

- ・複数名による発表は全員同じ評価を基本にする
- ・IT コース学生も同じ評価項目で評価する
- ・10 点満点の項目は, 10 点, 8 点, 6 点, 4 点, 2 点以外の中間的な点数としてもよい

更新履歴

2021-11-24 秋学期の中間発表が廃止されたことを受け、配点を見直した。

(1)を5点→10点とした。

2021-02-17 承認された教室会議の記述, 「・10点満点の項目は, 10点, 8点, 6点, 4点, 2点以外の中間的な点数としてもよい」, リビジョン番号を追加した。(島田英)